

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、
異業種交流活動を通して、
持続可能な地域経済圏をつくり、
夢と希望に満ちあふれた、
元気な地域社会を目指します。

SEA IWAKI

8月号／2021年8月1日発行

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

7月20日(火)
18:15～

7月通常例会

会 場
いわきワシントンホテル

演 題 「知識を持って正しく恐れる」～最新科学情報から解明する「日本コロナ」の真実～
ウイルスと付き合いながら経済を回していくにはどうしたら良いか
講 師 大阪市立大学名誉教授・健康科学研究所所長 井上 正康 氏



演 題 知識を持って正しく恐れる
～最新科学情報から解明する「日本コロナ」の真実～
ウイルスと付き合いながら経済を回していくにはどうしたら良いか
講 師 大阪市立大学名誉教授・健康科学研究所所長 井上 正康 氏

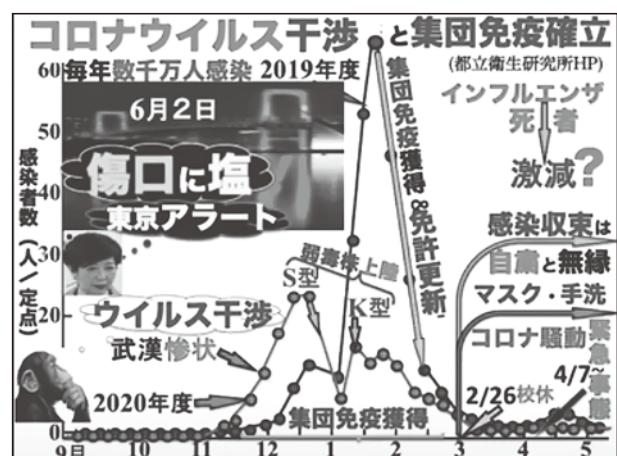
●講演会内容

本日の主題は「日本コロナと共生の意味論」ということですが、実は皆さん方の一人一人の遺伝子は2万個の遺伝子があるんですけれども、その中の30%はウイルスからもらったものです。そして残りの7割が大腸菌とか腸内細菌等からもらったものです。そういうものを使い回しながら我々はホモサピエンスに進化してきたという事がわかっています。

その進化の途上にある我々が、人災としての心構えとしてその唯一の解決策としての遺伝子ワクチンのことですたもんだしています。これを科学からの最先端の情報で少し解説させていただこうと思います。

私は研究者で、50年前に安全なワクチンを作ろうとい

う事を大学院1年の時に研究テーマとしておりました。



今年50年ぶりに新たに最先端のワクチンに出会ったという事でいろいろ勉強させていただきました。

その素晴らしさと同時に怖さがはっきりと分かってきたという事で、後半ではその事についてもお伝えしようかと思います。

日本は去年の3月まで世界一中国人インバウンドで超3密の状態だったんです。にも拘わらず、実は世界死者数が最も少なかった。去年の1年間は戦後75年間で唯一人口減少が下げる止まつた年だったのです。これを超過死亡数と言いますが、通常パンデミックはもの凄く死者が増えるんですけど一番大事な情報としては、トータルの死者が減った。これが一番大前提で、我々がもうあらゆる事を考える基盤にすべきだという風に考えております。

今は概ね日本人の思考停止状態が、今回のコロナの最も重要なリスクとして考えています。これは歴史的に見ますと75年前の大戦、そして10年前の東日本大震災でい

わきの方々も大変なご苦労なされましたその時の風評被害などをメディアが伝えた事によって、ものの実害以上に被害が広がっています。

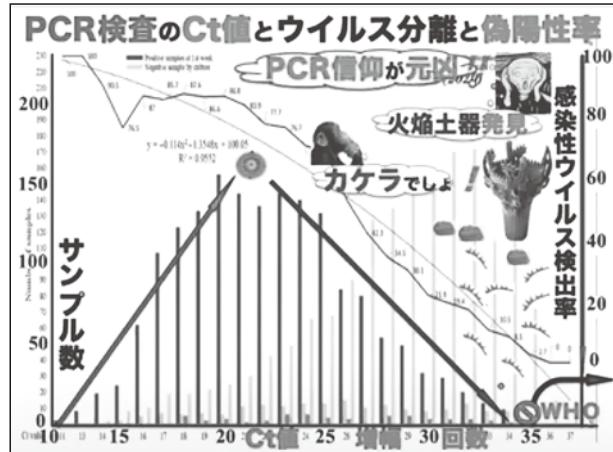
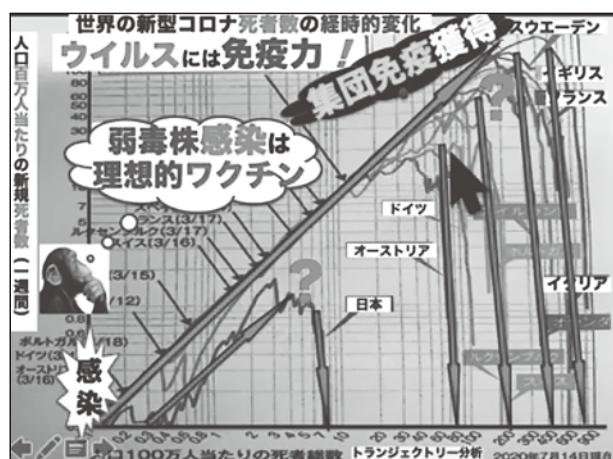
ですから政府やメディアや専門家を、あまりそのまま信用してはいけないのです。自分の頭で考えて将来を決めていくことが一番大事なんです。

感染症の一番重要な歴史はスペイン風邪ですが、これは実はアメリカの風邪なんです。

米国カンサスシティの米軍の兵舎でインフルエンザが発症し兵隊が軍艦に乗って第一次世界大戦のヨーロッパへ行き一気に広がり死者が大量に出ました。

武漢の野戦病院と全く同じです。100年経っても相変わらず我々は同じことをやっています。

この時代は5,000万人の日本の人口で40万人が亡くなつたんです。これがインフルエンザのパンデミックなんです。それから100年経つて、コウモリに由来するウイルスが武



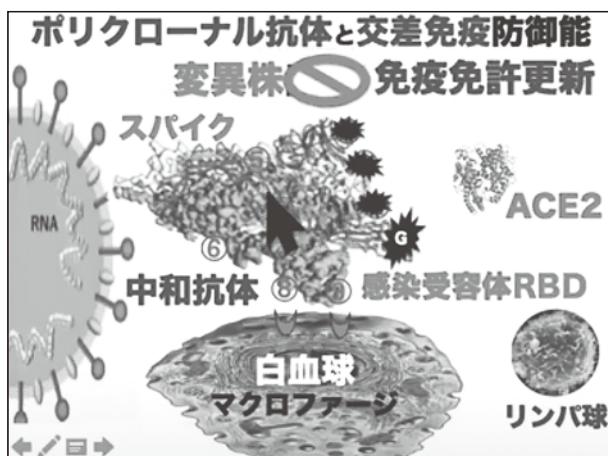
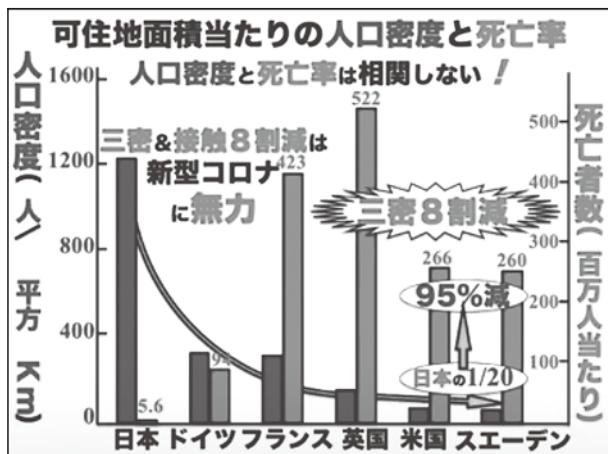
漠からジェット機に乗って世界中に、大体2週間あったら南極と北極以外すべての隅々まで到達します。

現在では皆さんの家庭の隅々にまでコロナのウイルスがもうすでに入り込んでいると思われます。そのために世界中がロックダウンやソーシャルディスタンスをとっても全て失敗したということです。

1年間かけて植え付けられた恐怖心がまだまだ強いのです。

皆さん方も毎日マスクを強要されておられると思います。実はこれは感染予防のためではなくて世間の目を遮断するために使っているに過ぎなのです。ですから全て無駄です。マスクの網目サイズというのは実はニワトリ小屋の金網から蚊が入ってくるのを防ごうというサイズの関係です。ですから意味がないということがわかつています。

それでもインフルエンザでは熱が出て咳がある人には

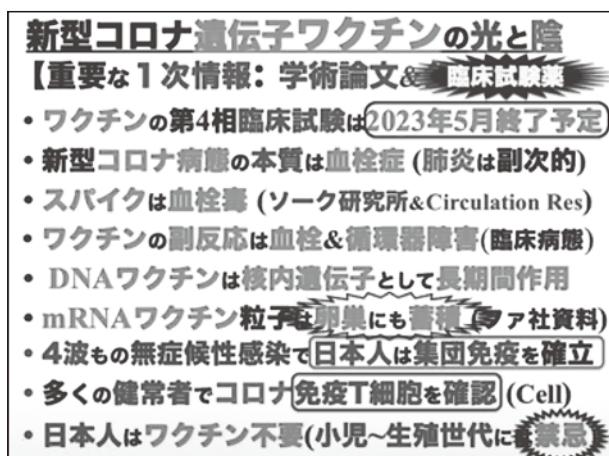


マスクが非常に有効であるということは分かっています。しかし今回の新型コロナでは5,000人をつけた人とつけない人を比較して全く効果がないというのはヨーロッパでダブルブラインド試験をやって分かっております。にもかかわらず我々は1年半マスクをつけっぱなしにしています。

それは物事を歴史的に見るトレーニングをしてないからという風に考えます。この感染症の歴史は実は病原菌なんです。私が生まれた頃はほとんどが結核で50歳前に亡くなっていました。20世紀は抗生物質が勝利した時代でした。

今世紀になってSARS、MARS、SARS2そして新型コロナでパンデミックになり、これはウイルスであるがゆえに薬が効かない。我々の自前の免疫力で戦い共生する他はないのです。

これが100年前のスペイン風邪でも130年前でもロシア





感染症法による新型コロナの取扱い		
感染症法的措置	入院勧告	就業制限
1類 エボラ出血熱 ベスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2類 結核 致死率10% SARSなど	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3類 細菌性赤痢 コレラ	-	<input type="radio"/>
4類 日本政府の緊急課題		<input type="radio"/>
5類 季節性1万人死亡 インフルエンザ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

風邪でもご先祖さんが生き残ってきた基本なんです。

歴史を見ると免疫的な反応というのがいかに重要なことがわかるわけです。

講師紹介 大阪市立大学名誉教授・健康科学研究所所長
井上 正康氏

経歴

広島県出身 1970年岡山大学医学部卒業
2011年大阪市立大学大医学部脳科学講座特任教授に就任

専門分野

医学、進化生物学、栄養エネルギー代謝、活性酸素、疲労科学、生活習慣病学（動脈硬化、高血圧、糖尿）、脳科学、災害科学



◆誕生日プレゼント

コチョウランが贈られました



左から田子英彦さん(7月23日)、小野代表幹事

FMいわき「いわき経済同友会だより」

【9月予定放送】

- 9月6日 第3グループ 四ツ倉隆裕 様
- 9月13日 第3グループ 山野辺浩良 様

- 9月20日 第3グループ 佐藤 力也 様
- 9月27日 第3グループ 佐川 達也 様

◇毎週月曜日17時45分からです。(約5分間)

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、
17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 小野賢司代表幹事
編集 情報委員会 委員長 松崎貴弘
副委員長／遠藤彗毅・小野嘉子・坂本和久
松尾幸治・宮野由美子